

# 議会レポート

## ■平成21年9月議会

### 1. みんなで支えよう、 高齢者にやさしいまちづくり

- ① 認知症サポーター講習会をシルバー人材センター、商店経営者にも受講を  
→効果が期待されるので実施対象を広げていきます。
- ② 新井地域へ的高齢者ふれあいサロンの開設を急げ  
→市としても、サロン開設に向けて、協力、支援してまいります。
- ③ 葬儀等委任請負サービスの実施を  
→先進事例を調査の上、今後、検討します。
- ④ 高齢者世帯への家具転倒防止器具の設置促進を  
→3年間で約3900世帯を目安に1世帯あたり上限1万5000円程度の器具支給をしています。新年度の事業開始PRを高齢者世帯に対しては、早めに実施していきたい。
- ⑤ 電動車いすの事故防止策を  
→今後、交通安全週間の取り組みの一つとして注意喚起を実施していきたい。



### 2. 『文化・スポーツ振興基本条例』の制定を 3. 百草・倉沢地区の緑のまちづくりの推進を

- ① 「上の坂」の手すりの早期設置を  
→「上の坂」は京王百草園駅と百草・倉沢地区を結ぶ路線となっています。今年中に手すりの設置ができるように努力します。
- ② 百草園の入り口をバリアフリーに  
→事業主の京王に対して要望します。
- ③ 農業体験事業における農業者支援を  
→第2次農業振興計画のアクションプランにも反映させながら、他の支援とともに、積極的に推進していきたい。
- ④ 百草・倉沢の里山保全の推進を  
→今後も残された貴重な百草丘陵の保全に向け、様々な手法を創意工夫しながら、貴重な緑地を保全してまいります。



## ★日野市議会再び議員定数！26議席から24議席に！

9月28日の本会議最終日に、議員定数の削減、条例改正について、定数を現在の26から、24へ2削減する条例改正案が提案されました。昨年の12月に会派代表者会議で提案され、私が所属する公明党でも1年近くにわたり、議論を重ね検討をしております。多くの市民のみなさんから、まだまだ議員の数が多すぎるのではないかとのご意見を伺います。近年の不況の中、民間企業は厳しい企業努力を重ねて苦境を乗り越えてこられています。市財政が緊急事態を迎えている今、市議会も自ら経費を削減し改革すべきと、公明党として、この定数減に賛成しました。これからも市民のみなさんのご意見には真摯に耳を傾け、ご意見をいただきながら、より、市民のためになる税金の使い道を研究してまいります。

### 日野市議会議員定数の歴史

H10.12	議員定数削減 検討特別委員会を設置
H11.12	現行30名から26名を提案 可決成立(自民・公明・市民共賛成 共産党・無所属は反対)
H21.9	26名から24名へ定数削減 (自民・公明・市民共賛成、共産党・無所属は反対)

## 皆様の声の実現へ

### ①京王線百草園駅舎のバリアフリー改修へ

公明党が与党時代に行った新交通バリアフリー法の改正により、1日の乗降客数が5000人を越えるすべての駅へのエレベーター又はエスカレーターの設置が全国で進んでいますが、京王線でも、高幡不動駅に続き、いよいよ、百草園駅の駅舎の改修工事が年内に始まります。完成は平成22年9月末の予定。(2階が改札になります)



平成22年9月完成予定の新百草園駅

### ②高幡不動尊前の歩行者用信号機が「ゆとりシグナル」に

地元の自治会の皆様から、日野警察に対し、高幡不動尊前の横断歩道が歩車分離信号機になっていて、危険なので安全対策を求める要望書が提出されておりました。峯岸は前石井義修都議会副議長を通じ、警視庁に訴えたところ、約1年後の平成21年10月13日に歩行者用信号機を「ゆとりシグナル」タイプにつけかえていただきました。平成22年度は多摩動物公園駅前の歩行者信号機にも設置予定です。



高幡不動尊前の「ゆとりシグナル」